

-	9:30	【開場・受付】		
-	10:00 ▼ 10:10	【開会・あいさつ】		
事例1	10:10 ▼ 10:30	6000トンプレスラインOEE向上 ~8の字展開法による故障撲滅活動~ ジヤトコ株式会社 素形材工場 工務部 保全技術課	新谷 陸	発表キーワード 設備の信頼性向上、品質安定化・向上、改良保全 慢性的に発生する鍛造部品の品質不良。維持管理と改善活動の8の字展開法により、品質不良の出ない設備や条件を探り、その傾向を管理し、品質不良の発生を潰す事に成功した事例を発表する。
	10:30 ▼ 10:50	インキ分散工程の夜間無人運転化 サカタイムス株式会社 東京工場 情報メディア製造部	東海林 慶典	発表キーワード 設備の信頼性向上、設備の管理方法・基準の見直し、作業の効率化・容易化 将来的なスマートファクトリー化を見据え、インキ分散工程の夜間無人運転化を進めるにあたり、課題を分析し、対策を実行することで、生産能力の増強を達成した事例を発表する。
事例2	11:00 ▼ 11:20	部品洗浄工程『水すまし』の作業改善 ~潜在ロスを顕在化し“真因”の追求~ サンデン株式会社 八斗島事業所 製造本部 コンブ製造部 コンブ製造1課2係 組長	金子 彩加	発表キーワード 作業の効率化・容易化 電動コンプレッサー組立ラインの部品洗浄工程水すまし作業での部品管理の不備による潜在ロスに対し、三現主義で確認することで『顕在化』した。そして、作業の標準化を基軸にムダ取り改善を行い、作業性向上する事ができた改善事例を発表する。
	11:20 ▼ 11:40	樹脂業界の既成概念を打破!!!~押出機スタートを楽にし隊~ 株式会社プライムポリマー 姉崎工場 ポリプロピレン課	長山 武司	発表キーワード 作業の効率化・容易化、安全 押出機のスタート作業は人海戦術かつ重筋作業でありすごく苦労していた。みんなが苦労しているこの作業を何とか楽にしたいという思いで改善チームを結成、活動を進めていった結果すごく大変だったスタート作業がある方法を使ってすごく楽な作業に改善することが出来た事例を発表する。
-	11:40 ▼ 13:00	昼休憩（昼食の提供はございません）		
事例5	13:00 ▼ 13:20	高圧コンプレッサ運用適正化による電力使用量削減 サントリープロダクツ株式会社 天然水南アルプス白州工場 製造部門(M4)DEライン容器・包装グループ	吉田 凌	発表キーワード 環境・省エネルギー 容器製造工程において電力使用量が最も多い高圧コンプレッサ。ボトルブローに欠かせないものだが、高圧コンプレッサとブロー機の圧力差に着目し、ボトル品質（ボトル規格や形状）を担保しながら適正なエア量を導き出すことで電力使用量削減を行う事例を発表する。
	13:20 ▼ 13:40	徹底法の改善 旭化成株式会社 製造統括本部 川崎製造所 アクリル樹脂製造部 PMMA製造課 重合係 交替オペレーター	小野 雄大	発表キーワード 作業の効率化・容易化、環境・省エネルギー、安全 私たちの部場では目標に【環境事故・トラブルゼロの継続】、手段に【排水溝クリーンアップ】を掲げている。「しかし」テーマ選定したのは、排水溝クリーンアップではなく、この諸悪の根源である「徹底法作業改善」を選定した。この取組みの事例を発表する。
事例7	13:40 ▼ 14:00	HOOD建付け精度向上 日産自動車株式会社 追浜工場 製造部車体課	大下 悠仁	発表キーワード 品質安定化・向上 HOOD自動機建付けのバラツキが大きく、HOOD調整作業遅れの要因となっていた。そのため、設備の原理原則から建付けのバラツキの原因を掴み、真因の対策を実施することができた。この取組みの事例を発表する。
	14:10 ▼ 14:30	破碎成形設備 破碎機 改善活動紹介 株式会社レソナック 基礎化学品事業部 川崎事業所 工務部 扇町工務2グループ	矢野 俊輔	発表キーワード 保全効率向上、機器能力維持、作業によるリスク回避 破碎成形設備において、原料プラスチックの細断を行う“破碎機”という重要機器があり、各所改良・改善を行っている。今回、能力を左右する部品である“回転刃”において改良改善を行った。改善内容及び成果について事例を発表する。
事例9	14:30 ▼ 14:50	可視化システム構築による品質不良撲滅 ジヤトコ株式会社 八木工場 工務部 保全技術課	片山 真也	発表キーワード 設備の信頼性向上、品質安定化・向上、デジタル技術を利用した改善 急激に増加した設備起因する品質不良。8の字展開法から問題を解決するストーリーを展開し、さらには『ラズパイ』を使用したDX活動で維持管理に落としこみ見事品質不良を撲滅する事ができた事例を発表する。
	14:50 ▼ 15:10	3500tトランスファープレス/Bリフトの状態監視による故障リスク低減 日産自動車株式会社 横浜工場 第二製造部 鍛熱課保全	手塚 克樹	発表キーワード デジタル技術を利用した改善 私たちは、設備保全としてIoTでの設備監視を促進。3500tトランスファープレスは、新型ノート等のサスペンション部品を供給しており、保全として予防保全にチャレンジし、BDRの向上を目指す活動事例を発表する。
-	15:20 ▼ 15:30	全国設備管理強調月間 応募作品のご紹介 ※ポスター、キャッチコピー、作文、 わが社の自慢できる保全員・オペレーター、改善活動レポート		
-	15:30 ▼ 16:10	発表者 & 参加者の交流会 発表者と参加者の質疑応答・意見交換・情報交換を目的とした企画です。 積極的な交流をお願いいたします。 ※当日は名刺をご持参ください		
-	16:10 ▼ 16:30	表彰式 全国設備管理強調月間入選者・優秀な改善事例を表彰いたします。		